

本誌では、アンケートにご回答いただく通信員（読者モニター）として、年度ごとにご登録いただいています。このコーナーでは、通信員の皆さまからお寄せいただいた**2024年1月号（156号）**の記事に対するご感想の他、ご希望の記事やご要望などをご紹介します。併せて、人気記事のランキングと次号予告も掲載いたします。通信員の皆さまから頂戴したご感想やご意見は、誌面づくりに生かさせていただきます。

子どもへのお金の教育について（30代・女性）

「お一人さま」（最終的にそうなった人を含む）のためのガイダンス（60代・男性）

「おひとりさま」は今年度、特集として取り上げる予定です。

## 希望記事

相続税と贈与税について（30代・女性）

相続した実家の売却の例（60代・男性）

将来の実家の処分について考えています。過疎地で売却も不可能なので、負の遺産です。空き家対策特別措置法について記事にしていただけると嬉しいです。（50代・女性）

ボランティア活動とは異なる、公務員のプロボノ（専門知識を生かした社会貢献活動）の実際について取り上げてほしいです。（40代・男性）

公務員の兼業について（営利企業従事）。社会的には、兼業を認めるようになってきていると感じています。先進的な自治体ではルールを作り、広く認めることで、Win-Winとなっていると思います。一方で、地方公務員法の規定により、相変わらず兼業タブーの風土も根強いものと感じますので、過渡期ではありますが、営利企業の従事の考え方について取り上げていただきたいです。（40代・女性）

在宅介護に関連して、高齢になっても住み続けられるための住まい選びや、リフォームのポイントについて取り上げていただけるとありがたいです。（40代・男性）

「iDeCoを活用した資産形成入門」の中で相場の世界の「頭と尻尾はくれてやれ!」という格言が載っていて、なるほどな!と思いました。このような格言をたくさん取り上げて説明していただければとても面白く勉強にもなるのではないかと感じました。（60代・男性）

新NISAの記事で、旧NISAとの違いが把握できて良かった。が、年360万円の限度額までの余裕資金はなく、累計限度額1800万円までは無期限なのでコツコツやっていくしかないと感じた。夫婦で3600万円という運用も将来的には目指したい。（40代・男性）

「遺言書と終活のススメ」が掲載されていましたが、今後、必ず迎える老後を考えますと、当事者、被当事者の両面から何を事前に用意しておくべきかのチェックリスト、一覧を記事にしてもらえたらと思います。（60代・男性）

エンディングノートを書くことを、親にどうやって理解してもらおうかというような、親の終活支援の参考となる記事を希望します。（50代・男性）

HEALTH「老年医学研究から見る老いとは?」が勉強になりました。腸内細菌ビフィズス菌を増やす工夫を取り入れようと思います。（60代・女性）

資産運用、投資関係のことをもっと知りたいと思っているので、わかりやすく記事にいただけると嬉しいです。（50代・女性）

退職後の家計管理など他人に聞きにくいことが盛りだくさんでとても役に立っています。（60代・男性）

TOPICS「新NISA制度」はとかく良い面ばかりの記事が多い中で、欠点を表してくれてなるほどと思った。（70代・男性）

「新NISA制度とその注意点」の中で、1800万円の上限管理がまだ決まっていないということには驚きました。今後もNISAの情報提供をよろしくお願いいたします。（60代・男性）

ストレッチ & 自重筋トレの記事を楽しみにしています。子どもと一緒に筋トレしています。(50代・女性)

連載物のテーマに興味をそそられています。(70代・男性)

### 通信員による人気記事ランキング

2024年1月号：156号

- 1位：ECONOMY 遺言書の作成と終活のススメ 明石 久美
- 2位：HEALTH 老年医学研究から見る「老い」とは？ 佐藤 信紘
- 3位：TOPICS 2024年1月施行で恒久化された「新NISA制度」とその注意点 横田 健一
- 4位：HEALTH 「肩まわり」のストレッチと自重筋トレ 荒川 裕志
- 5位：FAMILY 在宅介護でよくあるトラブルとその対策 鈴木 篤史

### 次号予告

2024年7月号：158号

特集「自然災害」

- 自宅が自然災害に遭ってしまったら
- 自然災害に対し、家計はどう備えればいいのか
- 家族で備える自然災害
- ライフプランに関わる令和6年度税制改正について
- 分散投資、長期投資とその効果
- キャリアにおける計画的偶発性理論
- 第二の脳ともいわれる「腸」を知る
- 効率的な筋力の付け方

その他、インタビューやコラム等も掲載予定です。

※予告内容は諸事情により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

CAREER「ジョブ・クラフティング」の記事は働きがいに繋がる大切な考え方だと思います。職場でも回覧し共有しました。(40代・男性)

ジョブ・クラフティング、初めて聞きました。ワークエンゲージメントもまだ馴染みが浅く、いまいち理解出来ていませんでしたが、今回の記事で理解が深まりました。職場において自分なら何が出来るのかを改めて考えるきっかけになりました。(40代・女性)

ジョブ・クラフティングで働きがいを見つけることが今の自分に必要なことがわかりました。公私ともに変化を加えて、前向きな意識を高めて、楽しい生活を送りたいと思います。(50代・男性)

前号の「家族信託」も読みごたえがありましたが、今号の「遺言書」はその必要性が身につまされて、繰り返し勉強させていただいています。(70代・男性)

ECONOMY「遺言書の作成と終活のススメ」、大変興味深く読みました。年齢が上がるにつれ必要性を感じるようになったので、取り上げていただけてありがたいです。手始めに、100円ショップでエンディングノートを購入してみました。記事も参考に、考えを整理していこうと思います。(50代・女性)

組織人としての自分、個としての自分、両面から勉強させていただいています。1年以上モニターをさせていただき感想を寄せてきたので、自身の着眼点も見えて来て自己分析にも繋がっています。CAREERのページがいつも興味深いのですが、最近ではHEALTHも気になるようになり、先々は終活にも興味が湧くと思います。小さな変化を楽しみつつ、毎回何かヒントを見付けようとハングリー精神です。(40代・女性)

現在58歳。定年は63歳ですが、60歳以降をどのようにするかまだ決められません。「働かなくても食べてはいけそう。でも働かなくては生きてはいけない」というのが率直な気持ちです。これまでのように家族や生活のため、石にかじりついてでもというのではなく、社会の役に立ちたい、自己有用感を得たいという気持ちが強くなりました。一度だけの人生、時間をどのように使えば満足いく人生を送れるか思案する毎日です。(50代・男性)

私は今年60歳、定年は2年延長されますが、次の新しいキャリアを築くため1年間のみ延長しようと考えていた矢先、今号の中村憲剛さんの言葉「チームの中で自分の存在価値を出せるか」「誰も自分にはかできないことがあるはず、どこにいても発揮できるよう、全力でやるのが存在価値を高めていく」は、私の心に響きました。第2の人生を楽しむため、存在価値高められるよう自分磨きに切磋琢磨していきます。(50代・男性)

アンケートにご回答をいただき、誠にありがとうございました。